

調達管理番号・案件名				
24a00542 全世界(広域)気候変動対策分野課題対応能力強化支援業務(国内業務)(QCBS-ランプサム型)				
質問番号	ページ	項目	質問内容	回答

質問と回答は以下のとおりです。

2024年9月12日

1	10	第4条(1)	貴機構にて整理しているパリ協定整合の該否を判断するプロセスに関する資料を共有頂くことは可能でしょうか。また、二次スクリーニングでは、どのような項目を確認予定かご教示願います。	現時点では正式な組織決定がなされた文書はなく、国際開発金融機関(MDBs)の方法論を参考にすることを想定している段階です。つきましては、MDBsの一つである欧州復興開発銀行(EBRD)のウェブサイトから方法論(確認項目)を参照下さい。 https://www.ebrd.com/ebrd-activities-paris-alignment
2	11	2)セクターを問わず使用可能な上位文書として位置づけられるガイドンスの作成	想定されるページ数(ボリューム)をご教示いただけると幸いで す。また、日本語版のみで良いでしょうか。	上述の欧州復興開発銀行(EBRD)の方法論は一部のセクター別のガイドンス、施設整備を直接的に支援しない形での協力に 係るガイドンスを含めて100頁程度のガイドンスを有しております。 第4条(1)2)～5)のガイドンスを纏めて合計100～ 150ページ(日本語)程度を想定しており、その英語版の作成も 想定しております。
3	11	3)セクター別のガイドンスの作成	想定されるページ数(ボリューム)をご教示いただけると幸いで す。また、日本語版のみで良いでしょうか。	上述の欧州復興開発銀行(EBRD)の方法論は一部のセクター別のガイドンス、施設整備を直接的に支援しない形での協力に 係るガイドンスを含めて100頁程度のガイドンスを有しております。 第4条(1)2)～5)のガイドンスを纏めて合計100～ 150ページ(日本語)程度を想定しており、その英語版の作成も 想定しております。 なお、世界銀行のセクター別ガイドンスは1セクターで10頁程度 です。 https://www.worldbank.org/en/publication/paris-alignment/joint-mdb-paris-alignment-approach
4	11	第4条(1) 2)～4)	業務内容の2)及び3)では項目名及び本文で、ガイドンスの「作成」及び「策定」作業となっていますが、4)では項目名で「作成」とある一方、本文では「整理」とあります。4)につきましては、貴機構が既存のガイドラインを所有されており、それらのレビュー作業等を想定されていらっしゃいますか。	「作成」、「策定」、「整理」の間に大きな意味の違いはございません。 MDBsが纏めている方法論を参考にしながら、JICAにおけるガイドラインを検討することを想定しております。英語版も作成頂くことを想定しております。

5	11	4)施設整備を直接的に支援しない形での協力に係るガイダンスの作成	想定されるページ数(ボリューム)をご教示いただけると幸いです。また、日本語版のみで良いでしょうか。	上述の欧州復興開発銀行(EBRD)の方法論は一部のセクター別のガイダンス、施設整備を直接的に支援しない形での協力に係るガイダンスを含めて100頁程度のガイダンスを有しております。第4条(1)(2)~5)のガイダンスを纏めて合計100~150ページ(日本語)程度を想定しており、その英語版の作成も想定しております。
6	11	第4条(1) (2)~5)	作成をご指示いただいている各ガイダンスについて、想定される作業完了時期がありましたら、ご教示願います。	2024年度内に一定の目途を付けつつ、2025年度前半には完了させることを想定しております。
7	11	5)ノンソブリン業務に係るガイダンスの作成	想定されるページ数(ボリューム)をご教示いただけると幸いです。また、日本語版のみで良いでしょうか。	上述の欧州復興開発銀行(EBRD)の方法論は一部のセクター別のガイダンス、施設整備を直接的に支援しない形での協力に係るガイダンスを含めて100頁程度のガイダンスを有しております。第4条(1)(2)~5)のガイダンスを纏めて合計100~150ページ(日本語)程度を想定しており、その英語版の作成も想定しております。
8	12	6)上記の全てを纏めた参考資料の作成	プレゼンテーション資料作成の目的と用途をご教示いただけると幸いです。また、資料は日本語のみで良いでしょうか。	内部での参考資料とするためです。1)~5)までを全て纏めて一式の資料として頂くとともに、補足的に使用出来るプレゼンテーション資料を添付頂くことを想定しております。英語版も作成頂くことを想定しております。
9	12	7)ガイダンスに基づく確認	「ガイダンス作成の過程で具体的な事業形成における助言を行う可能性がある。その場合、上記業務で纏めたガイダンスに基づき、事業形成検討の進め方や調査項目について助言を行う」とありますが、もし、助言を行える適当な業務が無かつた場合は、どのようになるのでしょうか。	適当な事業が発生しない場合には、確認を行わない形になると考えております。
10	12	①コベネフィット型気候変動対策にかかる業務	「ア)各JGAにおけるコベネフィット型気候変動対策解説書作成と更新」に関して、解説書は日本語版のみ作成すればよろしいでしょうか。	日本語版のみを想定しています。

11	13	①コベネフィット型気候変動対策にかかる業務	「『コベネフィット型気候変動対策』案件形成に関する各セクターにおける勉強会を実施」とありますか、どのようなワークショップでしょうか(内部／外部向け・規模・オンライン／対面など)。対面の場合、開催費用はどのようにりますでしょうか？	JICA内部向けで、対面とオンラインのハイブリッド、場所はJICA施設内を予定しております。開催費用は特別に生じないと考えています。
12	13	②気候変動対策と持続可能な開発課題(SDGs)とのシナジーに関する調査・研究	「分析過程や結果、関係者の意見を踏まえた報告書の作成」とありますが、想定されるページ数(ボリューム)をご教示いただけますと幸いです。また、日本語版のみで良いでしょうか。	50ページ程度、日本語版のみです。
13	14	③複数分野にまたがる気候変動対策案件形成に関する業務	「JICAとの議論を通じて、対象国のニーズに沿った分野横断的案件形成の検討」の中に、「ワークショップ実施」とありますが、これはどのようなワークショップを想定していますでしょうか？オンラインでのワークショップとかででしょうか？対面で行うとなつた場合、その会場費などはどのようになるのでしょうか。	「オンライン作業」として記載しているように、オンラインでの実施を想定しています。
14	14	③複数分野にまたがる気候変動対策案件形成に関する業務	「具体的な案件内容を検討、コンセプトノート作成」とありますが、何件くらいを想定していますでしょうか。	3-4件程度の作成を想定しています。分野のバラツキを確保することも意識の上、対象の特定をしてください。
15	14	第4条(2) ③	本作業に関わり選定する対象国は1か国を想定されていますか。また複数国を想定されている場合、特定の地域の中での複数国を想定されていますか。	複数国を想定しており、特定の地域ではなく全世界を想定しています。

16	14	③複数分野にまたがる気候変動対策案件形成に関する業務	分野横断的な影響として主に負の側面の記載が例示されていますが、正の側面(プラスの相乗効果)についても分野横断的な影響として検討する必要はありますでしょうか。	ここでは正の側面、シナジーの確認はマストとしていませんが、調査を通じて明らかになった場合には記載ください。
17	16	第5条 報告書等	調査の成果品(p.16)には「ガイダンス」や「プレゼンテーション資料」「コンセプトノート」が明示的には含まれていませんが、No.3の「サステナビリティ方針に基づく気候変動に関連したガイダンス作成のための調査報告書」に、p.11、業務内容2)～5)に示されている各ガイダンスやプレゼンテーション、No.6の「複数分野にまたがる気候変動対策案件形成に関する調査報告書」に、p.14、業務内容に示されているコンセプトノートが含まれると理解してよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
18	18	提案を求める内容No.2	「気候変動対策は、複数分野にまたがる…」とありますが、冒頭の”気候変動は、”の部分につき、文章のつながりがなく、誤記ではないかと思いましたが、いかがでしょうか。	冒頭の「気候変動対策は、」は削除ください。失礼しました、訂正いたします。
19	21	4. 見積書作成に係る留意事項(1)報酬について	報酬単価を定めずとあります。最新の見積書のフォーム(2024年7月公示以降)については、報酬単価のフォームになっていますが、見積書(2023年7月公示～2024年6月公示)の国内業務様式を利用してもいいのでしょうか。最新のフォームを利用する場合、その他原価、一般管理費等については直接人件費に加算して報酬額として計上していくのでしょうか。	見積書(2023年7月公示～2024年6月公示)の国内業務様式をご利用ください

以上